



協体さあふじ

「藤沢市体育協会広報」第43号

発行日 平成11年12月
発行・編集 藤沢市体育協会
〒251-0026 藤沢市鶴沼東8-2
秩父宮記念体育館内

『県総体三回目の総合優勝』

―横浜を一点差で振り切る―

藤沢市選手団

団長 松井芳子



第五十回県総合体育大会に総合優勝できました経過を含めてご報告させていただきます。今年度から新たにフットサル、ゴルフ、ボウリング競技が実施され、剣道競技、青年大会が中止となった状況で、十七種目が県下三十七市町村の参加を得て、市町村対抗競技として実施されました。二月のスキー競技を皮切りに、夏季大会ではボウリング・ゴルフ・フットサル・ソフトボール・水泳競技が行なわれ、ボウリング男子の部では見事に第一回の優勝を飾ることが出来ました。

夏季大会は天候が不順で、ソフトテニス中止となり、フットサルは強豪を破り、優勝が見えたところで雨天のためベスト八で中止となってしまい、期待していた得点をあげる事が出来ませんでした。九月に行なわれた秋季大会では天候にも恵まれ、男女バレーボール・

卓球・バスケットボール・サッカー・バドミントン・軟式野球・陸上・クレー射撃・柔道・弓道が順当に行なわれ、女子バレーボール・バスケットボール・卓球が優勝し、陸上では女子100m・200m走で共に大会新記録という素晴らしい記録で優勝いたしました。この結果、優勝四種目、準優勝二種目、三位三種目ほか各種目とも順調に得点を重ね、横浜市に僅か一点差でございましたが、二年ぶり三度目の総合優勝を飾ることができました。これも選手、監督の日頃の厳しい練習の成果であり、選手選考から大会出場に際してご尽力をいただいた各種目協会の皆さんのお陰と改めて御礼申し上げます。来年も今年以上の得点を挙げ、紫紺の優勝旗を持ちかえることが出来るよう頑張りますことをお誓いし、選手団長としての御礼の言葉と優勝報告とさせていただきます。

《種目別成績》

種目	成績	得点	種目	成績	得点
スキー	第11位	27	バレーボール女子	優勝	36
ソフトボール	第3位	31.5	野球	第3位	28.5
フットサル	ベスト8 (雨天打ち切り)	33.5	サッカー	準優勝	33
ボウリング男子	優勝	37	卓球	優勝	36.5
ボウリング女子	第15位	23	バスケットボール	優勝	36.5
水泳	第13位	25	柔道	2回戦敗退	25.5
ゴルフ	第5位	33	弓道	〃	25.5
陸上	第4位	34	バドミントン	第3位	31.5
バレーボール男子	準優勝	33	射撃	第9位	29

☆ソフトテニスは雨天中止

《総合成績》

順位	市名	成績
1	藤沢市	559
2	横浜市	558
3	相模原市	529.5
4	平塚市	510
5	茅ヶ崎市	501

陸上競技
女子100・200m
大会新で優勝
「石井美どり選手」
日本選手権400mにも
出場し有望な選手

県総体優勝種目

バレーボール競技(女子) 市村裕児監督

監督をまかされて2年目。

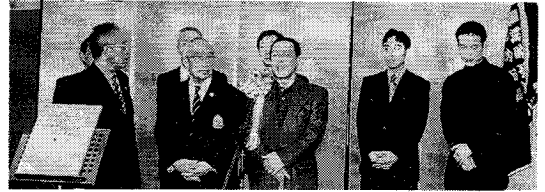
去年は決勝で負けたが、今年は優勝出来た。ここ10年のうち8回優勝。



ボウリング競技(男子) 根崎 務氏

本年より正式に県総体に参画。

選手の選出と監督を誰にするか協会の中で苦労した。50歳以上と女子の選手層が薄いので強化したい。



卓球競技

白井文夫監督

今年もいい選手が集まり優勝できました。3回連続になる。強い選手のおかげで3回戦に優勝候補の鎌倉を破り、決勝で小田原を下しました。



バスケットボール

志智美仁監督

2年連続優勝。メンバーは3年前の全国大会青年の部で優勝した人たち。50回記念大会で優勝うれしい。2000年もこのメンバーで。

軟式野球・テニス大活躍

市役所軟式野球チーム国体4位



第54回くまもと未来国体に参加できたことは、チーム・選手の一生の宝物になりました。

10月25日、宮城県に1対0、翌日山口県に2対0と共に延長戦を勝ち抜き、27日に準決勝兵庫県と戦いました。先制しましたが追加点が取れず、八回に逆転を許し、一対二で敗れました。三位決定戦も京都府に0対4で敗れ、四位に終わりました。

藤沢市内大会から13連勝して全国四位入賞でき、来年も「ひたむき、まえむき、全員野球」でチーム一丸がんばります。

全日本都市対抗テニス大会

第23回全日本都市対抗テニス大会が、7月23日から富山県富山市において開催され、神奈川県予選で優勝した藤沢市が県代表として出場しました。

大会初日は、梅雨明けで富山が日本で一番暑く、コートの中は40度を超える悪条件のため、本市の多くの選手は、コンディションを崩し、大方の予想を裏切り、一回戦敗退となりましたが、翌日からのコンソレーションマッチにおいて、その鬱憤を晴らすごとく、優勝を勝ち取りました。みなさまの熱い応援に感謝するとともに、さらに選手一同精進することを誓います。



参 考

(3)

種目協会

あらかると

——ソフトボール協会——

当協会は、ソフトボールに愛着を持っておられる多くの方々の多大なるご協力、ご支援のもと、これまで様々な大会を主管・主催することが出来ました。

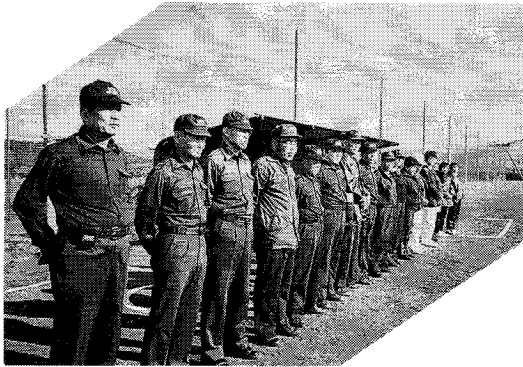
大会を運営していく上で、役員はもとより、多くの公式審判員や公式記録員の方々の活躍があります。今回、そのほんの一部分ではありますが、ご紹介させて頂きます。

審判員は、早朝よりのグラウンド整備を行います。夏はTシャツ一枚で汗だくになりながら、冬は白い息をはきながら、霜でぬかるんだグラウンドに、これから繰り広げられる選手達の好プレーを思い浮かべながら、ファウルラインは真っ直ぐか、塁間の距離、バッターボックスの幅や長さなどを正確に計り、その舞台を作り上げていきます。

記録員は試合前、各チームのメンバー表をチェックし、スムーズな試合進行に努めますが、これはミスの許されない作業で、その上、試合前

の僅かな時間の中で行われなければならず、大変な集中力を必要とします。試合が開始されると、選手達に負けず劣らず真剣さでプレーを見守り、自信と誇りを持ってそれぞれの役割を果たします。

現在、熊谷審判員長、小林記録員長を両軸に、審判員72名、記録員22名の方々が専門の試験に合格され、当協会に所属して頂いております。なかでも女性の活躍には脱帽です。皆さん家庭を持ちながら、自らも選手としてプレーされ、その上、審判員や記録員としても活躍されているんですから、このような人達を協会の「宝」として大切にしたいと思えます。



協会のたから

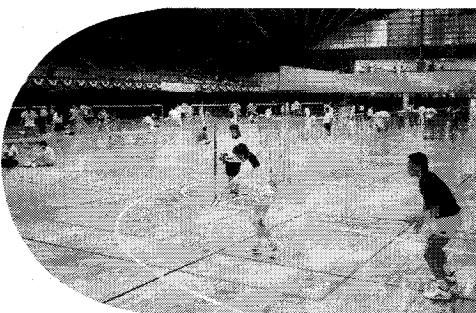


藤沢市バドミントン協会は、平成8年度に創立30周年記念式典を開催致しました。

その際、記念事業の一環として協会全体に協会のシンボルマークを公募したところ、この紙面にあるような進歩的な藤沢市の気風の影響を受けて大変モダンなデザインのシンボルマークができあがりました。バドミントンのシャトルコックのイメージの図柄の中に示されたメッセージは、本協会の発展と前進、そして協会員の作り出す人間的なうねりの創造です。協会本部をはじめ、協会員一同、このシンボルマークに負けないよう、練習に、事業に、大会運営に、日夜取り組んでおります。どうも、バドミントンと言うと、

路地裏にネット張って、親子で日曜日の午後に笑顔で楽しむスポーツと見られがちですが、そのスポーツ量はバスケットボールと同じくらいハードです。ましてやメンパーチェンジはありませんので、その体力・精神力の消耗は半端ではありません。そこで、以前おこなわれた協会対抗綱引き大会でも、まさかの優勝を果たしたりも致しました。

その底力をもちまして、積極的にバドミントン人口の増加をここ数年目指して参りましたところ、最近ではひとつの大会で250試合を消化するまで盛り上がり参りました。シンボルマークに少し近づけたのではないかと、感慨にむせぶ今日この頃であります。



市民バドミントン大会

第15回

スポーツ人の集い

とき 平成12年2月19日(土)
PM 5:30~

ところ 藤沢市民会館小ホール

<第一部> 式典

この1年間に活躍した選手団体等に贈られる藤沢スポーツ賞の表彰

<第二部> 講演会

1992年バルセロナオリンピックバドミントン競技女子ダブルスに陣内貴美子とペアを組み日本代表として出場

講師 森 久子氏

“私とバドミントン”



どなたでも入場できます
多数のご参加を!!

主催 藤沢市体育協会
藤沢市教育委員会
問い合わせ ☎22-5655 藤沢市体育協会

初冬、この時期としては暖かい発刊準備でした。夏より秋までの大会結果をまとめ、県総体総合優勝などの素晴らしい報告がでうれしい限りです。スポーツ人の集いで多くの選手が表彰されることでしょうか。かつての受賞者で本年女子柔道世界選手権で優勝した榎崎教子(旧姓菅原)さんに続いてほしいものです。

また、暮れの藤沢翔陵高校駅伝メンバーと、正月の全国高校サッカー選手権に出場する日大藤沢イレブンの大活躍を次号でご報告できることを祈ります。

理事(小川・松久保)

編集後記

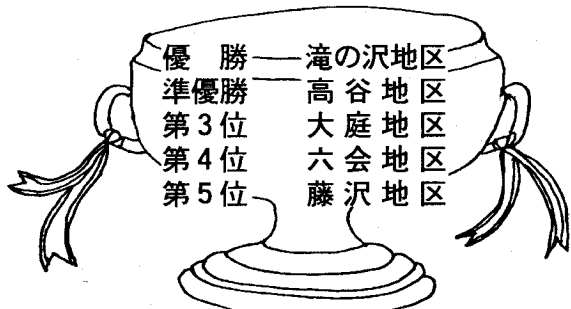
「バスケットボール」
伊東輝明(神奈川県)
米谷昭人(神奈川県)
バスケットボール成年男子
△藤沢市在住▽

「水泳」
中村礼子(湘南工大付高)
少年女子A 100m背泳
菱沼良佑(日大藤沢高)
少年男子B 200mバタフライ

くまもと未来国体
で輝く優勝

第54回 藤沢市民総合体育大会

滝の沢地区総合優勝!!



優勝 滝の沢地区
準優勝 高谷地区
第3位 大庭地区
第4位 六会地区
第5位 藤沢地区

各種目別成績

男子 羽鳥地区
女子 藤沢地区
総合 羽鳥地区
バレーボール 滝の沢地区
卓球 天神地区
ソフトテニス 滝の沢地区・高谷地区
軟式野球 中里地区
ソフトボール 滝の沢地区
バドミントン 高谷地区
陸上 高谷地区



応援お願いします

藤沢翔陵高校

全国高校駅伝大会出場
- 2年ぶり20度目 -

県予選で2時間7分48秒
同コースでは歴代2位の好タイム、12月26日、
京都府西京極で行われる

日大藤沢高校

全国高校サッカー選手権大会出場
- 13年ぶり2度目 -

インターハイ県予選に続いて「2冠」
1月2日三ツ沢公園競技場(12:10キックオフ)
で島根代表の海南学園と対戦
準々決勝 1月5日(千葉県総合運動公園)
準決・決勝 1月7日8日(国立競技場)